

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮城県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	精神医療センター（地方独立 行政法人宮城県立病院機構）	2	大崎市	大崎市民病院鹿島台分院	20
-	がんセンター（地方独立行政 法人宮城県立病院機構）	3	蔵王町	蔵王町国民健康保険蔵王病院	21
-	こども病院（地方独立行政法 人宮城県立こども病院）	4	川崎町	国民健康保険川崎病院	22
仙台市	市立病院	5	丸森町	丸森町国民健康保険丸森病院	23
石巻市	石巻市立病院	6	涌谷町	涌谷町国民健康保険病院	24
石巻市	石巻市立牡鹿病院	7	美里町	美里町立南郷病院	25
塩竈市	塩竈市立病院	8	女川町	女川町立病院	26
気仙沼市	気仙沼市立病院	9	南三陸町	南三陸病院	27
気仙沼市	気仙沼市立本吉病院	10	白石市外二町組合	公立刈田総合病院	28
登米市	登米市立登米市民病院	11	黒川地域行政事務組合	公立黒川病院	29
登米市	登米市立米谷病院	12	加美郡保健医療福祉行政 事務組合	公立加美病院	30
登米市	登米市立豊里病院	13	みやぎ県南中核病院企業 団	みやぎ県南中核病院	31
栗原市	栗原市立栗原中央病院	14			
栗原市	栗原市立若柳病院	15			
栗原市	栗原市立栗駒病院	16			
大崎市	大崎市民病院	17			
大崎市	大崎市民病院鳴子温泉分院	18			
大崎市	大崎市民病院岩出山分院	19			

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名			
病院名	精神医療センター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,301,996	
決算規模(千円)	1,148,186,483	
標準財政規模(千円)	470,419,625	
財政力指数	0.62649	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	159.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,940			
1 経常収益	5,940			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	5,940			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,940			
2 経常費用	5,940			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	104.8
材料費	-	-	25.3	8.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	1.3
減価償却費	-	-	9.5	13.5
経費	-	-	22.7	33.3
(うち委託料)	-	-	12.6	18.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	5,940			
(うち支払利息)	5,940	-	1.3	2.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	101.4
医業収支比率	-		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	66.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名			
病院名	がんセンター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,301,996	
決算規模(千円)	1,148,186,483	
標準財政規模(千円)	470,419,625	
財政力指数	0.62649	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	159.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	58,836			
1 経常収益	58,836			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	58,836			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	58,836			
2 経常費用	58,836			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	-	-	9.5	10.0
経費	-	-	22.7	21.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	58,836			
(うち支払利息)	58,836	-	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	101.7
医業収支比率	-		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名			
病院名	こども病院(地方独立行政法人宮城県立こども病院)		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,301,996	
決算規模(千円)	1,148,186,483	
標準財政規模(千円)	470,419,625	
財政力指数	0.62649	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	159.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	81,977			
1 経常収益	81,977			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	81,977			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	81,977			
2 経常費用	81,977			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	-	-	9.5	10.7
経費	-	-	22.7	29.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	81,977			
(うち支払利息)	81,977	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考:
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	仙台市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	52,286 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 感 災 地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	467	79.5	86.2	84.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	14.5	30.7	31.3
感染症	8	67.8	2.2	3.3
計	525	73.1	79.6	78.5
平均在院日数(一般病床のみ)		9.6	9.5	9.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,096,704	
決算規模(千円)	652,174,052	
標準財政規模(千円)	280,307,561	
財政力指数	0.91	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	71.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,764,626			
1 経常収益	18,456,136			
(1) 医業収益	15,247,184			
入院収益	10,318,269			
外来収益	3,790,577			
診療収入計	14,108,846			
その他医業収益	1,138,338			
(うち他会計負担金)	960,859			
(2) 医業外収益	3,208,952			
(うち国・都道府県補助金)	1,864,624			
(うち他会計補助・負担金)	1,067,763			
(うち長期前受金戻入)	90,587			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	308,490			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,757,708			
2 経常費用	18,369,713			
(1) 医業費用	17,422,510			
職員給与費	9,745,264	63.9	62.1	55.8
材料費	3,761,597	24.7	25.3	29.8
(うち薬品費)	1,665,560	10.9	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,096,037	13.7	11.4	13.0
減価償却費	1,400,665	9.2	9.5	8.7
経費	2,467,051	16.2	22.7	19.7
(うち委託料)	1,725,938	11.3	12.6	12.6
研究研修費	43,258			
資産減耗費	4,675			
(2) 医業外費用	947,203			
(うち支払利息)	258,162	1.7	1.3	1.2
(3) 特別損失	387,995			
損益				
経常損益	86,423			
純損益	6,918			
累積欠損金	9,948,081			
経常収支比率	100.5		101.9	102.5
医業収支比率	87.5		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	10.8		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	89.4		89.3	93.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,601,071
1 固定資産	25,307,002
(1) 有形固定資産	25,270,919
(2) 無形固定資産	36,083
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,294,069
(1) 現金及び預金	2,338,214
(2) 未収金及び未収収益	3,941,000
(3) 貸倒引当金()	67,084
(4) 貯蔵品	81,655
3 繰延資産	-
負債合計	27,013,141
1 固定負債	22,616,514
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,390,710
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,225,804
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,002,598
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	994,426
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	562,249
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,398,937
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,394,029
(1) 長期前受金	2,225,269
(2) 長期前受金収益化累計額()	831,240
資本合計	4,587,930
1 資本金	14,536,011
2 剰余金	-9,948,081
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-9,948,081
負債・資本合計	31,601,071
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.0
修正医業収益(千円)	14,286,325

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,974,891	2,028,622
資本勘定繰入	501,138	692,842
計	2,476,029	2,721,464

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	65.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	石巻市				
病院名	石巻市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,921 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救感輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	140	69.9	74.0	75.9
療養	40	72.7	76.5	64.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	70.5	74.6	73.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	18.2	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	140,151	
決算規模(千円)	179,360,610	
標準財政規模(千円)	40,075,533	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	0.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	55.3
修正医業収益(千円)	2,414,595

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,898,555			
1 経常収益	4,768,494			
(1) 医業収益	2,604,983			
入院収益	1,812,858			
外来収益	517,768			
診療収入計	2,330,626			
その他医業収益	274,357			
(うち他会計負担金)	190,388			
(2) 医業外収益	2,163,511			
(うち国・都道府県補助金)	327,209			
(うち他会計補助・負担金)	907,951			
(うち長期前受金戻入)	872,077			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	130,061			
(うち他会計繰入金)	46,166			
総費用	4,650,383			
2 経常費用	4,563,668			
(1) 医業費用	4,365,155			
職員給与費	1,935,238	74.3	62.1	67.4
材料費	473,342	18.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	126,399	4.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	346,943	13.3	11.4	8.8
減価償却費	908,643	34.9	9.5	10.7
経費	1,040,316	39.9	22.7	29.2
(うち委託料)	667,319	25.6	12.6	13.9
研究研修費	5,001			
資産減耗費	2,615			
(2) 医業外費用	198,513			
(うち支払利息)	69,126	2.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	86,715			
損益				
経常損益	204,826			
純損益	248,172			
累積欠損金	5,743,377			
経常収支比率	104.5		101.9	100.3
医業収支比率	59.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	23.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	42.2		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	23.4		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	80.4		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,041,941
1 固定資産	11,857,342
(1) 有形固定資産	11,857,342
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,184,599
(1) 現金及び預金	308,843
(2) 未収金及び未収収益	832,380
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	43,376
3 繰延資産	-
負債合計	14,860,900
1 固定負債	2,752,639
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,453,308
(2) その他の企業債	280,996
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	18,335
2 流動負債	1,041,032
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	409,071
(2) その他の企業債	96,166
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	153,168
(6) リース債務	4,853
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	271,723
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	11,067,229
(1) 長期前受金	16,409,221
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,341,992
資本合計	-1,818,959
1 資本金	4,354,065
2 剰余金	-6,173,024
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-6,173,024
負債・資本合計	13,041,941
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,818,959
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	632,518	1,144,505
資本勘定繰入	234,528	355,620
計	867,046	1,500,125

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	209.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			宮城県
市町村・組合名	石巻市		
病院名	石巻市立牡鹿病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,588 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	その他
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	25	54.1	55.3	40.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	54.1	55.3	40.6
平均在院日数(一般病床のみ)		34.2	28.7	20.7

設立団体の状況		
人口(人)	140,151	
決算規模(千円)	179,360,610	
標準財政規模(千円)	40,075,533	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	0.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	38.8
修正医業収益(千円)	239,633

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	720,516			
1 経常収益	717,966			
(1) 医業収益	346,634			
入院収益	59,188			
外来収益	166,905			
診療収入計	226,093			
その他医業収益	120,541			
(うち他会計負担金)	107,001			
(2) 医業外収益	371,332			
(うち国・都道府県補助金)	6,390			
(うち他会計補助・負担金)	306,172			
(うち長期前受金戻入)	49,376			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,550			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	641,739			
2 経常費用	639,189			
(1) 医業費用	618,197			
職員給与費	323,894	93.4	62.1	89.0
材料費	105,228	30.4	25.3	14.0
(うち薬品費)	89,045	25.7	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,071	4.3	11.4	5.4
減価償却費	61,351	17.7	9.5	13.0
経費	119,960	34.6	22.7	47.1
(うち委託料)	65,735	19.0	12.6	22.5
研究研修費	307			
資産減耗費	7,457			
(2) 医業外費用	20,992			
(うち支払利息)	114	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	2,550			
損益				
経常損益	78,777			
純損益	78,777			
累積欠損金	429,647			
経常収支比率	112.3		101.9	98.5
医業収支比率	56.1		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	57.5		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	119.2		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	57.3		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	47.7		89.3	64.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,041,941
1 固定資産	11,857,342
(1) 有形固定資産	11,857,342
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,184,599
(1) 現金及び預金	308,843
(2) 未収金及び未収収益	832,380
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	43,376
3 繰延資産	-
負債合計	14,860,900
1 固定負債	2,752,639
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,453,308
(2) その他の企業債	280,996
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	18,335
2 流動負債	1,041,032
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	409,071
(2) その他の企業債	96,166
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	153,168
(6) リース債務	4,853
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	271,723
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	11,067,229
(1) 長期前受金	16,409,221
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,341,992
資本合計	-1,818,959
1 資本金	4,354,065
2 剰余金	-6,173,024
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-6,173,024
負債・資本合計	13,041,941
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,818,959
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	245,536	413,173
資本勘定繰入	12,721	25,440
計	258,257	438,613

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	209.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	塩竈市				
病院名	塩竈市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,495 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	161	71.3	78.7	81.8
療養	-	-	49.9	78.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	71.3	75.9	81.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	15.0	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	52,203	
決算規模(千円)	34,716,325	
標準財政規模(千円)	12,371,721	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,810,817			
1 経常収益	2,810,349			
(1) 医業収益	2,434,316			
入院収益	1,496,959			
外来収益	605,775			
診療収入計	2,102,734			
その他医業収益	331,582			
(うち他会計負担金)	188,727			
(2) 医業外収益	376,033			
(うち国・都道府県補助金)	34,500			
(うち他会計補助・負担金)	259,298			
(うち長期前受金戻入)	68,099			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	468			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,809,243			
2 経常費用	2,805,767			
(1) 医業費用	2,722,140			
職員給与費	1,703,462	70.0	62.1	67.4
材料費	328,904	13.5	25.3	17.7
(うち薬品費)	174,684	7.2	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	123,310	5.1	11.4	8.8
減価償却費	109,350	4.5	9.5	10.7
経費	575,142	23.6	22.7	29.2
(うち委託料)	290,711	11.9	12.6	13.9
研究研修費	5,244			
資産減耗費	38			
(2) 医業外費用	83,627			
(うち支払利息)	1,204	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	3,476			
損益				
経常損益	4,582			
純損益	1,574			
累積欠損金	3,422,934			
経常収支比率	100.2		101.9	100.3
医業収支比率	89.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	18.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	84.2		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,724,622
1 固定資産	1,261,262
(1) 有形固定資産	1,261,116
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	463,360
(1) 現金及び預金	45,431
(2) 未収金及び未収収益	412,024
(3) 貸倒引当金()	1,338
(4) 貯蔵品	7,243
3 繰延資産	-
負債合計	1,542,010
1 固定負債	417,356
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	417,356
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	491,582
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	66,552
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	45,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	180,000
(8) 未払金及び未払費用	183,185
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	633,072
(1) 長期前受金	1,008,324
(2) 長期前受金収益化累計額()	375,252
資本合計	182,612
1 資本金	3,593,643
2 剰余金	-3,411,031
(1) 資本剰余金	11,903
(2) 利益剰余金	-3,422,934
負債・資本合計	1,724,622
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.5
修正医業収益(千円)	2,245,589

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	337,731	448,025
資本勘定繰入	40,024	42,649
計	377,755	490,674

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	140.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	気仙沼市				
病院名	気仙沼市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,908 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	336	70.4	77.7	77.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	36.9	12.6	10.1
計	340	70.0	76.9	77.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	12.7	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	61,147	
決算規模(千円)	89,603,322	
標準財政規模(千円)	18,365,906	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	101.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,291,268			
1 経常収益	10,025,320			
(1) 医業収益	7,558,782			
入院収益	4,245,494			
外来収益	2,934,661			
診療収入計	7,180,155			
その他医業収益	378,627			
(うち他会計負担金)	271,330			
(2) 医業外収益	2,466,538			
(うち国・都道府県補助金)	608,415			
(うち他会計補助・負担金)	710,968			
(うち長期前受金戻入)	1,057,994			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,265,948			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,151,704			
2 経常費用	10,376,853			
(1) 医業費用	9,785,200			
職員給与費	4,452,200	58.9	62.1	63.5
材料費	1,706,415	22.6	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,052,089	13.9	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	653,360	8.6	11.4	11.8
減価償却費	1,594,296	21.1	9.5	10.0
経費	1,974,015	26.1	22.7	21.7
(うち委託料)	1,211,865	16.0	12.6	12.2
研究研修費	6,492			
資産減耗費	51,782			
(2) 医業外費用	591,653			
(うち支払利息)	69,140	0.9	1.3	1.4
(3) 特別損失	1,774,851			
損益				
経常損益	-351,533			
純損益	-860,436			
累積欠損金	11,474,080			
経常収支比率	96.6		101.9	101.7
医業収支比率	77.2		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	8.7		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	87.1		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,171,681
1 固定資産	19,169,653
(1) 有形固定資産	17,730,892
(2) 無形固定資産	13,417
(3) 投資その他の資産	1,425,344
2 流動資産	3,002,028
(1) 現金及び預金	1,018,384
(2) 未収金及び未収収益	1,811,714
(3) 貸倒引当金()	2,248
(4) 貯蔵品	172,078
3 繰延資産	-
負債合計	19,830,911
1 固定負債	3,348,457
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,277,845
(2) その他の企業債	692
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,891
(7) リース債務	33,029
2 流動負債	2,465,194
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	306,289
(2) その他の企業債	1,379
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	348,601
(6) リース債務	27,235
(7) 一時借入金	1,000,000
(8) 未払金及び未払費用	776,089
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,017,260
(1) 長期前受金	17,813,639
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,796,379
資本合計	2,340,770
1 資本金	13,729,106
2 剰余金	-11,388,336
(1) 資本金剰余金	187,621
(2) 利益剰余金	-11,575,957
負債・資本合計	22,171,681
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.5
修正医業収益(千円)	7,287,452

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	882,396	982,298
資本勘定繰入	354,031	648,434
計	1,236,427	1,630,732

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	146.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	気仙沼市				
病院名	気仙沼市立本吉病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	1,902 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	38	52.3	52.7	53.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	38	52.3	52.7	53.7
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	21.2	21.1

設立団体の状況		
人口(人)	61,147	
決算規模(千円)	89,603,322	
標準財政規模(千円)	18,365,906	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	101.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.0
修正医業収益(千円)	375,674

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	618,130			
1 経常収益	603,163			
(1) 医業収益	375,674			
入院収益	172,104			
外来収益	182,440			
診療収入計	354,544			
その他医業収益	21,130			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	227,489			
(うち国・都道府県補助金)	15,632			
(うち他会計補助・負担金)	197,984			
(うち長期前受金戻入)	12,975			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,967			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	618,837			
2 経常費用	604,805			
(1) 医業費用	587,362			
職員給与費	365,626	97.3	62.1	89.0
材料費	47,654	12.7	25.3	14.0
(うち薬品費)	17,102	4.6	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	25,469	6.8	11.4	5.4
減価償却費	28,309	7.5	9.5	13.0
経費	145,540	38.7	22.7	47.1
(うち委託料)	81,924	21.8	12.6	22.5
研究研修費	172			
資産減耗費	61			
(2) 医業外費用	17,443			
(うち支払利息)	778	0.2	1.3	1.3
(3) 特別損失	14,032			
損益				
経常損益	-1,642			
純損益	-707			
累積欠損金	114,782			
経常収支比率	99.7		101.9	98.5
医業収支比率	64.0		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	32.8		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	52.7		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	32.0		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	67.0		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,171,681
1 固定資産	19,169,653
(1) 有形固定資産	17,730,892
(2) 無形固定資産	13,417
(3) 投資その他の資産	1,425,344
2 流動資産	3,002,028
(1) 現金及び預金	1,018,384
(2) 未収金及び未収収益	1,811,714
(3) 貸倒引当金()	2,248
(4) 貯蔵品	172,078
3 繰延資産	-
負債合計	19,830,911
1 固定負債	3,348,457
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,277,845
(2) その他の企業債	692
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,891
(7) リース債務	33,029
2 流動負債	2,465,194
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	306,289
(2) その他の企業債	1,379
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	348,601
(6) リース債務	27,235
(7) 一時借入金	1,000,000
(8) 未払金及び未払費用	776,089
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	14,017,260
(1) 長期前受金	17,813,639
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,796,379
資本合計	2,340,770
1 資本金	13,729,106
2 剰余金	-11,388,336
(1) 資本金剰余金	187,621
(2) 利益剰余金	-11,575,957
負債・資本合計	22,171,681
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	198,691	197,984
資本勘定繰入	6,966	6,966
計	205,657	204,950

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	146.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	登米市				
病院名	登米市立登米市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,796 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救 災 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	198	78.1	69.3	60.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	78.1	69.3	60.2
平均在院日数(一般病床のみ)		18.2	20.5	21.0

設立団体の状況		
人口(人)	76,037	
決算規模(千円)	53,465,366	
標準財政規模(千円)	26,613,301	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	83.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.6
修正医業収益(千円)	3,514,254

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,365,803			
1 経常収益	5,094,603			
(1) 医業収益	4,058,675			
入院収益	2,136,950			
外来収益	1,236,623			
診療収入計	3,373,573			
その他医業収益	685,102			
(うち他会計負担金)	544,421			
(2) 医業外収益	1,035,928			
(うち国・都道府県補助金)	361,347			
(うち他会計補助・負担金)	466,878			
(うち長期前受金戻入)	163,965			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	271,200			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,090,751			
2 経常費用	4,925,470			
(1) 医業費用	4,710,577			
職員給与費	2,791,285	68.8	62.1	67.4
材料費	463,278	11.4	25.3	17.7
(うち薬品費)	205,863	5.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	253,960	6.3	11.4	8.8
減価償却費	353,000	8.7	9.5	10.7
経費	1,092,246	26.9	22.7	29.2
(うち委託料)	518,196	12.8	12.6	13.9
研究研修費	7,558			
資産減耗費	3,210			
(2) 医業外費用	214,893			
(うち支払利息)	50,055	1.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	165,281			
損益				
経常損益	169,133			
純損益	275,052			
累積欠損金	13,100,575			
経常収支比率	103.4		101.9	100.3
医業収支比率	86.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	19.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	24.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	18.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	82.9		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,004,744
1 固定資産	10,359,980
(1) 有形固定資産	9,997,630
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	361,062
2 流動資産	1,644,764
(1) 現金及び預金	550,939
(2) 未収金及び未収収益	1,074,882
(3) 貸倒引当金()	7,295
(4) 貯蔵品	26,196
3 繰延資産	-
負債合計	13,426,890
1 固定負債	9,179,817
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,256,806
(2) その他の企業債	186,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	360,000
(6) 引当金	2,376,911
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,901,998
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	698,655
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	276,717
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,500,000
(8) 未払金及び未払費用	351,246
(9) 前受金及び前受収益	37,530
3 繰延収益	1,345,075
(1) 長期前受金	2,492,806
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,147,731
資本合計	-1,422,146
1 資本金	15,018,918
2 剰余金	-16,441,064
(1) 資本金剰余金	150,557
(2) 利益剰余金	-16,591,621
負債・資本合計	12,004,744
不良債務	558,579
実質資金不足額	556,579
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,422,146
資本不足額(繰延収益控除後)()	77,071

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	964,693	1,011,299
資本勘定繰入	255,532	431,321
計	1,220,225	1,442,620

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	558,579	9.5
令和元年度	1,015,963	17.1
平成30年度	1,085,889	19.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	282.5
健全化法上の資金不足額(千円)	556,579
健全化法上の資金不足比率(%)	9.4
地財法上の資金不足額(千円)	742,679
地財法上の資金不足比率(%)	12.6

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	登米市				
病院名	登米市立米谷病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,823 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	52.7	56.8	59.9
療養	50	77.4	70.1	31.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	66.4	64.2	55.8
平均在院日数(一般病床のみ)		22.0	20.1	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	76,037	
決算規模(千円)	53,465,366	
標準財政規模(千円)	26,613,301	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	83.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,164,481			
1 経常収益	1,116,349			
(1) 医業収益	832,502			
入院収益	518,775			
外来収益	195,156			
診療収入計	713,931			
その他医業収益	118,571			
(うち他会計負担金)	58,810			
(2) 医業外収益	283,847			
(うち国・都道府県補助金)	10,420			
(うち他会計補助・負担金)	180,132			
(うち長期前受金戻入)	82,102			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	48,132			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,363,551			
2 経常費用	1,354,471			
(1) 医業費用	1,290,676			
職員給与費	687,040	82.5	62.1	78.9
材料費	76,141	9.1	25.3	15.6
(うち薬品費)	43,544	5.2	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,055	3.9	11.4	6.0
減価償却費	240,713	28.9	9.5	11.7
経費	285,263	34.3	22.7	31.2
(うち委託料)	147,134	17.7	12.6	14.3
研究研修費	1,365			
資産減耗費	154			
(2) 医業外費用	63,795			
(うち支払利息)	15,248	1.8	1.3	1.7
(3) 特別損失	9,080			
損益				
経常損益	-238,122			
純損益	-199,070			
累積欠損金	2,529,052			
経常収支比率	82.4		101.9	100.3
医業収支比率	64.5		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	21.4		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	28.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	20.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	64.8		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,004,744
1 固定資産	10,359,980
(1) 有形固定資産	9,997,630
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	361,062
2 流動資産	1,644,764
(1) 現金及び預金	550,939
(2) 未収金及び未収収益	1,074,882
(3) 貸倒引当金()	7,295
(4) 貯蔵品	26,196
3 繰延資産	-
負債合計	13,426,890
1 固定負債	9,179,817
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,256,806
(2) その他の企業債	186,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	360,000
(6) 引当金	2,376,911
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,901,998
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	698,655
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	276,717
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,500,000
(8) 未払金及び未払費用	351,246
(9) 前受金及び前受収益	37,530
3 繰延収益	1,345,075
(1) 長期前受金	2,492,806
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,147,731
資本合計	-1,422,146
1 資本金	15,018,918
2 剰余金	-16,441,064
(1) 資本剰余金	150,557
(2) 利益剰余金	-16,591,621
負債・資本合計	12,004,744
不良債務	558,579
実質資金不足額	556,579
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,422,146
資本不足額(繰延収益控除後)()	77,071
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.9
修正医業収益(千円)	773,692

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	229,511	238,942
資本勘定繰入	40,235	80,469
計	269,746	319,411

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	558,579	9.5
令和元年度	1,015,963	17.1
平成30年度	1,085,889	19.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	282.5
健全化法上の資金不足額(千円)	556,579
健全化法上の資金不足比率(%)	9.4
地財法上の資金不足額(千円)	742,679
地財法上の資金不足比率(%)	12.6

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	登米市				
病院名	登米市立豊里病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,119 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	62.5	59.6	63.3
療養	30	98.6	98.3	99.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	74.5	71.6	74.2
平均在院日数(一般病床のみ)		27.1	21.6	21.5

設立団体の状況		
人口(人)	76,037	
決算規模(千円)	53,465,366	
標準財政規模(千円)	26,613,301	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	83.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.1
修正医業収益(千円)	928,441

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,259,767			
1 経常収益	1,187,993			
(1) 医業収益	981,260			
入院収益	616,854			
外来収益	271,174			
診療収入計	888,028			
その他医業収益	93,232			
(うち他会計負担金)	52,819			
(2) 医業外収益	206,733			
(うち国・都道府県補助金)	14,554			
(うち他会計補助・負担金)	155,482			
(うち長期前受金戻入)	24,163			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	71,774			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,373,405			
2 経常費用	1,277,311			
(1) 医業費用	1,236,682			
職員給与費	781,870	79.7	62.1	78.9
材料費	98,210	10.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	52,346	5.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	45,289	4.6	11.4	6.0
減価償却費	79,701	8.1	9.5	11.7
経費	271,421	27.7	22.7	31.2
(うち委託料)	131,116	13.4	12.6	14.3
研究研修費	1,884			
資産減耗費	3,596			
(2) 医業外費用	40,629			
(うち支払利息)	4,634	0.5	1.3	1.7
(3) 特別損失	96,094			
損益				
経常損益	-89,318			
純損益	-113,638			
累積欠損金	961,994			
経常収支比率	93.0		101.9	100.3
医業収支比率	79.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	21.2		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	16.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	76.7		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,004,744
1 固定資産	10,359,980
(1) 有形固定資産	9,997,630
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	361,062
2 流動資産	1,644,764
(1) 現金及び預金	550,939
(2) 未収金及び未収収益	1,074,882
(3) 貸倒引当金()	7,295
(4) 貯蔵品	26,196
3 繰延資産	-
負債合計	13,426,890
1 固定負債	9,179,817
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,256,806
(2) その他の企業債	186,100
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	360,000
(6) 引当金	2,376,911
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,901,998
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	698,655
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	276,717
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,500,000
(8) 未払金及び未払費用	351,246
(9) 前受金及び前受収益	37,530
3 繰延収益	1,345,075
(1) 長期前受金	2,492,806
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,147,731
資本合計	-1,422,146
1 資本金	15,018,918
2 剰余金	-16,441,064
(1) 資本剰余金	150,557
(2) 利益剰余金	-16,591,621
負債・資本合計	12,004,744
不良債務	558,579
実質資金不足額	556,579
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,422,146
資本不足額(繰延収益控除後)()	77,071

備考:
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	203,809	208,301
資本勘定繰入	17,643	34,238
計	221,452	242,539

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	558,579	9.5
令和元年度	1,015,963	17.1
平成30年度	1,085,889	19.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	282.5
健全化法上の資金不足額(千円)	556,579
健全化法上の資金不足比率(%)	9.4
地財法上の資金不足額(千円)	742,679
地財法上の資金不足比率(%)	12.6

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	栗原市				
病院名	栗原市立栗原中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,277 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	267	68.6	64.8	68.8
療養	17	9.6	62.3	66.9
結核	28	35.0	33.1	-
精神	-	-	-	-
感染症	1	-	-	-
計	313	61.6	61.6	68.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.9	15.8	15.5

設立団体の状況		
人口(人)	64,637	
決算規模(千円)	52,233,321	
標準財政規模(千円)	27,369,075	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	44.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.8
修正医業収益(千円)	4,558,184

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,393,361			
1 経常収益	6,280,052			
(1) 医業収益	4,745,414			
入院収益	3,305,000			
外来収益	1,089,787			
診療収入計	4,394,787			
その他医業収益	350,627			
(うち他会計負担金)	187,230			
(2) 医業外収益	1,534,638			
(うち国・都道府県補助金)	623,948			
(うち他会計補助・負担金)	717,615			
(うち長期前受金戻入)	75,568			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	113,309			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,201,712			
2 経常費用	6,087,881			
(1) 医業費用	5,784,401			
職員給与費	3,084,195	65.0	62.1	63.5
材料費	932,463	19.6	25.3	24.9
(うち薬品費)	285,072	6.0	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	647,391	13.6	11.4	11.8
減価償却費	442,025	9.3	9.5	10.0
経費	1,315,242	27.7	22.7	21.7
(うち委託料)	606,504	12.8	12.6	12.2
研究研修費	6,503			
資産減耗費	3,973			
(2) 医業外費用	303,480			
(うち支払利息)	106,557	2.2	1.3	1.4
(3) 特別損失	113,831			
損益				
経常損益	192,171			
純損益	191,649			
累積欠損金	6,617,988			
経常収支比率	103.2		101.9	101.7
医業収支比率	82.0		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	14.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	19.1		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	14.2		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	88.3		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,891,641
1 固定資産	11,750,181
(1) 有形固定資産	11,685,735
(2) 無形固定資産	789
(3) 投資その他の資産	63,657
2 流動資産	2,141,460
(1) 現金及び預金	559,176
(2) 未収金及び未収収益	1,523,956
(3) 貸倒引当金()	1,018
(4) 貯蔵品	59,346
3 繰延資産	-
負債合計	10,932,727
1 固定負債	8,857,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,850,607
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	6,914
2 流動負債	1,764,953
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,022,210
(2) その他の企業債	346
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	288,312
(6) リース債務	4,605
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	446,726
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	310,253
(1) 長期前受金	617,251
(2) 長期前受金収益化累計額()	306,998
資本合計	2,958,914
1 資本金	11,395,556
2 剰余金	-8,436,642
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,436,642
負債・資本合計	13,891,641
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	679,521	904,845
資本勘定繰入	425,120	425,120
計	1,104,641	1,329,965

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	128.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	栗原市				
病院名	栗原市立若柳病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,581 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	90	53.1	62.4	61.5
療養	30	67.2	75.9	73.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	56.6	65.8	64.4
平均在院日数(一般病床のみ)		19.5	19.6	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	64,637	
決算規模(千円)	52,233,321	
標準財政規模(千円)	27,369,075	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	44.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.3
修正医業収益(千円)	1,210,031

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,690,154			
1 経常収益	1,647,749			
(1) 医業収益	1,280,383			
入院収益	735,598			
外来収益	428,175			
診療収入計	1,163,773			
その他医業収益	116,610			
(うち他会計負担金)	70,352			
(2) 医業外収益	367,366			
(うち国・都道府県補助金)	9,889			
(うち他会計補助・負担金)	349,943			
(うち長期前受金戻入)	2,859			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	42,405			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,865,610			
2 経常費用	1,856,076			
(1) 医業費用	1,746,412			
職員給与費	983,193	76.8	62.1	67.4
材料費	180,116	14.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	109,128	8.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,988	5.5	11.4	8.8
減価償却費	151,963	11.9	9.5	10.7
経費	418,585	32.7	22.7	29.2
(うち委託料)	194,520	15.2	12.6	13.9
研究研修費	1,452			
資産減耗費	11,103			
(2) 医業外費用	109,664			
(うち支払利息)	45,449	3.5	1.3	1.5
(3) 特別損失	9,534			
損益				
経常損益	-208,327			
純損益	-175,456			
累積欠損金	1,008,162			
経常収支比率	88.8		101.9	100.3
医業収支比率	73.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	25.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	32.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	24.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	66.1		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,891,641
1 固定資産	11,750,181
(1) 有形固定資産	11,685,735
(2) 無形固定資産	789
(3) 投資その他の資産	63,657
2 流動資産	2,141,460
(1) 現金及び預金	559,176
(2) 未収金及び未収収益	1,523,956
(3) 貸倒引当金()	1,018
(4) 貯蔵品	59,346
3 繰延資産	-
負債合計	10,932,727
1 固定負債	8,857,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,850,607
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	6,914
2 流動負債	1,764,953
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,022,210
(2) その他の企業債	346
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	288,312
(6) リース債務	4,605
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	446,726
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	310,253
(1) 長期前受金	617,251
(2) 長期前受金収益化累計額()	306,998
資本合計	2,958,914
1 資本金	11,395,556
2 剰余金	-8,436,642
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,436,642
負債・資本合計	13,891,641
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	293,611	420,295
資本勘定繰入	112,262	112,262
計	405,873	532,557

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	128.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 宮城県	
市町村・組合名	栗原市				
病院名	栗原市立栗駒病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,954 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	45	55.0	63.5	60.2
療養	30	70.9	70.7	75.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	75	61.3	66.4	66.2
平均在院日数(一般病床のみ)		22.9	23.4	22.0

設立団体の状況		
人口(人)	64,637	
決算規模(千円)	52,233,321	
標準財政規模(千円)	27,369,075	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	44.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.1
修正医業収益(千円)	503,768

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	807,508			
1 経常収益	769,778			
(1) 医業収益	565,776			
入院収益	348,790			
外来収益	137,909			
診療収入計	486,699			
その他医業収益	79,077			
(うち他会計負担金)	62,008			
(2) 医業外収益	204,002			
(うち国・都道府県補助金)	4,829			
(うち他会計補助・負担金)	194,367			
(うち長期前受金戻入)	3,195			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	37,730			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	913,307			
2 経常費用	908,626			
(1) 医業費用	866,694			
職員給与費	531,047	93.9	62.1	78.9
材料費	57,654	10.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	29,293	5.2	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,361	5.0	11.4	6.0
減価償却費	64,385	11.4	9.5	11.7
経費	209,666	37.1	22.7	31.2
(うち委託料)	102,562	18.1	12.6	14.3
研究研修費	486			
資産減耗費	3,456			
(2) 医業外費用	41,932			
(うち支払利息)	15,881	2.8	1.3	1.7
(3) 特別損失	4,681			
損益				
経常損益	-138,848			
純損益	-105,799			
累積欠損金	810,492			
経常収支比率	84.7		101.9	100.3
医業収支比率	65.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	33.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	45.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	31.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	56.5		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,891,641
1 固定資産	11,750,181
(1) 有形固定資産	11,685,735
(2) 無形固定資産	789
(3) 投資その他の資産	63,657
2 流動資産	2,141,460
(1) 現金及び預金	559,176
(2) 未収金及び未収収益	1,523,956
(3) 貸倒引当金()	1,018
(4) 貯蔵品	59,346
3 繰延資産	-
負債合計	10,932,727
1 固定負債	8,857,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,850,607
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	6,914
2 流動負債	1,764,953
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,022,210
(2) その他の企業債	346
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	288,312
(6) リース債務	4,605
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	446,726
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	310,253
(1) 長期前受金	617,251
(2) 長期前受金収益化累計額()	306,998
資本合計	2,958,914
1 資本金	11,395,556
2 剰余金	-8,436,642
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,436,642
負債・資本合計	13,891,641
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	224,458	256,375
資本勘定繰入	29,733	29,733
計	254,191	286,108

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	128.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	大崎市				
病院名	大崎市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	50,178 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	43	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	494	81.1	84.6	83.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	41.4	0.1	-
計	500	80.6	83.6	82.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	9.9	9.5

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	83,709,012	
標準財政規模(千円)	36,417,556	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	51.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.4
修正医業収益(千円)	18,508,394

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,376,171			
1 経常収益	21,909,539			
(1) 医業収益	19,421,392			
入院収益	11,369,835			
外来収益	6,444,249			
診療収入計	17,814,084			
その他医業収益	1,607,308			
(うち他会計負担金)	912,998			
(2) 医業外収益	2,488,147			
(うち国・都道府県補助金)	673,340			
(うち他会計補助・負担金)	813,550			
(うち長期前受金戻入)	589,351			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	466,632			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	21,960,221			
2 経常費用	21,640,344			
(1) 医業費用	20,478,208			
職員給与費	9,003,204	46.4	62.1	55.8
材料費	6,450,256	33.2	25.3	29.8
(うち薬品費)	3,622,424	18.7	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,827,832	14.6	11.4	13.0
減価償却費	1,579,008	8.1	9.5	8.7
経費	3,399,498	17.5	22.7	19.7
(うち委託料)	1,954,981	10.1	12.6	12.6
研究研修費	33,731			
資産減耗費	12,511			
(2) 医業外費用	1,162,136			
(うち支払利息)	184,595	1.0	1.3	1.2
(3) 特別損失	319,877			
損益				
経常損益	269,195			
純損益	415,950			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.2		101.9	102.5
医業収支比率	94.8		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	93.3		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,188,051
1 固定資産	24,553,603
(1) 有形固定資産	23,638,929
(2) 無形固定資産	39,833
(3) 投資その他の資産	874,841
2 流動資産	8,634,448
(1) 現金及び預金	4,194,254
(2) 未収金及び未収収益	4,219,435
(3) 貸倒引当金()	13,341
(4) 貯蔵品	207,891
3 繰延資産	-
負債合計	25,012,768
1 固定負債	15,135,853
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,633,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	424,869
(7) リース債務	1,077,799
2 流動負債	4,424,926
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,170,972
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	667,809
(6) リース債務	135,032
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,350,366
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,451,989
(1) 長期前受金	10,468,271
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,016,282
資本合計	8,175,283
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-2,894,261
(1) 資本金剰余金	86,269
(2) 利益剰余金	-2,980,530
負債・資本合計	33,188,051
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,726,548	1,726,548
資本勘定繰入	529,153	529,153
計	2,255,701	2,255,701

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	大崎市				
病院名	大崎市民病院鳴子温泉分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,794 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	53.3	47.0	50.4
療養	40	-	14.7	47.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	26.7	30.8	48.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	22.4	20.1

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	83,709,012	
標準財政規模(千円)	36,417,556	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	51.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	38.0
修正医業収益(千円)	294,667

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	768,248			
1 経常収益	758,095			
(1) 医業収益	334,309			
入院収益	197,460			
外来収益	88,684			
診療収入計	286,144			
その他医業収益	48,165			
(うち他会計負担金)	39,642			
(2) 医業外収益	423,786			
(うち国・都道府県補助金)	6,179			
(うち他会計補助・負担金)	336,691			
(うち長期前受金戻入)	59,781			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,153			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	824,364			
2 経常費用	793,219			
(1) 医業費用	774,573			
職員給与費	469,128	140.3	62.1	78.9
材料費	28,647	8.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	11,135	3.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,512	5.2	11.4	6.0
減価償却費	52,011	15.6	9.5	11.7
経費	221,521	66.3	22.7	31.2
(うち委託料)	126,680	37.9	12.6	14.3
研究研修費	840			
資産減耗費	2,426			
(2) 医業外費用	18,646			
(うち支払利息)	2,561	0.8	1.3	1.7
(3) 特別損失	31,145			
損益				
経常損益	-35,124			
純損益	-56,116			
累積欠損金	1,525,939			
経常収支比率	95.6		101.9	100.3
医業収支比率	43.2		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	49.6		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	112.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	49.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	48.1		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,188,051
1 固定資産	24,553,603
(1) 有形固定資産	23,638,929
(2) 無形固定資産	39,833
(3) 投資その他の資産	874,841
2 流動資産	8,634,448
(1) 現金及び預金	4,194,254
(2) 未収金及び未収収益	4,219,435
(3) 貸倒引当金()	13,341
(4) 貯蔵品	207,891
3 繰延資産	-
負債合計	25,012,768
1 固定負債	15,135,853
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,633,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	424,869
(7) リース債務	1,077,799
2 流動負債	4,424,926
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,170,972
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	667,809
(6) リース債務	135,032
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,350,366
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,451,989
(1) 長期前受金	10,468,271
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,016,282
資本合計	8,175,283
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-2,894,261
(1) 資本金剰余金	86,269
(2) 利益剰余金	-2,980,530
負債・資本合計	33,188,051
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	376,333	376,333
資本勘定繰入	73,731	73,731
計	450,064	450,064

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	大崎市				
病院名	大崎市民病院岩出山分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,496 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	86.0	81.9	82.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	86.0	81.9	82.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	17.1	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	83,709,012	
標準財政規模(千円)	36,417,556	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	51.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.7
修正医業収益(千円)	533,146

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	809,956			
1 経常収益	791,493			
(1) 医業収益	569,629			
入院収益	345,269			
外来収益	160,360			
診療収入計	505,629			
その他医業収益	64,000			
(うち他会計負担金)	36,483			
(2) 医業外収益	221,864			
(うち国・都道府県補助金)	5,914			
(うち他会計補助・負担金)	143,015			
(うち長期前受金戻入)	43,457			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	18,463			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	816,709			
2 経常費用	811,365			
(1) 医業費用	787,135			
職員給与費	487,434	85.6	62.1	89.0
材料費	45,729	8.0	25.3	14.0
(うち薬品費)	17,730	3.1	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,999	4.9	11.4	5.4
減価償却費	59,174	10.4	9.5	13.0
経費	194,228	34.1	22.7	47.1
(うち委託料)	112,293	19.7	12.6	22.5
研究研修費	403			
資産減耗費	167			
(2) 医業外費用	24,230			
(うち支払利息)	4,325	0.8	1.3	1.3
(3) 特別損失	5,344			
損益				
経常損益	-19,872			
純損益	-6,753			
累積欠損金	701,392			
経常収支比率	97.6		101.9	98.5
医業収支比率	72.4		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	22.7		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	31.5		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	22.2		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	75.4		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,188,051
1 固定資産	24,553,603
(1) 有形固定資産	23,638,929
(2) 無形固定資産	39,833
(3) 投資その他の資産	874,841
2 流動資産	8,634,448
(1) 現金及び預金	4,194,254
(2) 未収金及び未収収益	4,219,435
(3) 貸倒引当金()	13,341
(4) 貯蔵品	207,891
3 繰延資産	-
負債合計	25,012,768
1 固定負債	15,135,853
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,633,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	424,869
(7) リース債務	1,077,799
2 流動負債	4,424,926
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,170,972
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	667,809
(6) リース債務	135,032
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,350,366
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,451,989
(1) 長期前受金	10,468,271
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,016,282
資本合計	8,175,283
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-2,894,261
(1) 資本金剰余金	86,269
(2) 利益剰余金	-2,980,530
負債・資本合計	33,188,051
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	179,498	179,498
資本勘定繰入	50,180	50,180
計	229,678	229,678

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	大崎市				
病院名	大崎市民病院鹿島台分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,728 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	75.7	74.4	71.3
療養	18	69.2	69.2	68.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	73.7	72.8	70.2
平均在院日数(一般病床のみ)		25.7	24.5	22.7

設立団体の状況		
人口(人)	127,330	
決算規模(千円)	83,709,012	
標準財政規模(千円)	36,417,556	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	51.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	63.4
修正医業収益(千円)	628,099

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	983,918			
1 経常収益	974,158			
(1) 医業収益	664,427			
入院収益	402,919			
外来収益	198,460			
診療収入計	601,379			
その他医業収益	63,048			
(うち他会計負担金)	36,328			
(2) 医業外収益	309,731			
(うち国・都道府県補助金)	3,327			
(うち他会計補助・負担金)	257,726			
(うち長期前受金戻入)	20,642			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,760			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,025,297			
2 経常費用	1,018,363			
(1) 医業費用	990,926			
職員給与費	610,379	91.9	62.1	78.9
材料費	56,242	8.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	26,399	4.0	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	29,843	4.5	11.4	6.0
減価償却費	81,871	12.3	9.5	11.7
経費	238,691	35.9	22.7	31.2
(うち委託料)	136,949	20.6	12.6	14.3
研究研修費	522			
資産減耗費	3,221			
(2) 医業外費用	27,437			
(うち支払利息)	7,138	1.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	6,934			
損益				
経常損益	-44,205			
純損益	-41,379			
累積欠損金	933,759			
経常収支比率	95.7		101.9	100.3
医業収支比率	67.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	30.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	44.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	29.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	66.8		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,188,051
1 固定資産	24,553,603
(1) 有形固定資産	23,638,929
(2) 無形固定資産	39,833
(3) 投資その他の資産	874,841
2 流動資産	8,634,448
(1) 現金及び預金	4,194,254
(2) 未収金及び未収収益	4,219,435
(3) 貸倒引当金()	13,341
(4) 貯蔵品	207,891
3 繰延資産	-
負債合計	25,012,768
1 固定負債	15,135,853
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,633,185
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	424,869
(7) リース債務	1,077,799
2 流動負債	4,424,926
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,170,972
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	667,809
(6) リース債務	135,032
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,350,366
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,451,989
(1) 長期前受金	10,468,271
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,016,282
資本合計	8,175,283
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-2,894,261
(1) 資本金剰余金	86,269
(2) 利益剰余金	-2,980,530
負債・資本合計	33,188,051
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	290,359	294,054
資本勘定繰入	27,464	27,464
計	317,823	321,518

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	蔵王町				
病院名	蔵王町国民健康保険蔵王病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,084 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	10	28.8	74.2	91.6
療養	26	55.9	97.4	95.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	36	48.4	91.3	94.4
平均在院日数(一般病床のみ)		46.7	44.9	26.8

設立団体の状況		
人口(人)	11,418	
決算規模(千円)	7,958,734	
標準財政規模(千円)	4,293,499	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.6
	将来負担比率(%)	6.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	37.2
修正医業収益(千円)	146,114

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	295,452			
1 経常収益	292,602			
(1) 医業収益	185,557			
入院収益	90,570			
外来収益	44,457			
診療収入計	135,027			
その他医業収益	50,530			
(うち他会計負担金)	39,443			
(2) 医業外収益	107,045			
(うち国・都道府県補助金)	3,828			
(うち他会計補助・負担金)	100,364			
(うち長期前受金戻入)	1,108			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,850			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	406,984			
2 経常費用	403,488			
(1) 医業費用	392,623			
職員給与費	245,973	132.6	62.1	89.0
材料費	18,130	9.8	25.3	14.0
(うち薬品費)	4,342	2.3	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	8,496	4.6	11.4	5.4
減価償却費	10,219	5.5	9.5	13.0
経費	116,819	63.0	22.7	47.1
(うち委託料)	72,857	39.3	12.6	22.5
研究研修費	176			
資産減耗費	1,306			
(2) 医業外費用	10,865			
(うち支払利息)	226	0.1	1.3	1.3
(3) 特別損失	3,496			
損益				
経常損益	-110,886			
純損益	-111,532			
累積欠損金	247,051			
経常収支比率	72.5		101.9	98.5
医業収支比率	47.3		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	47.8		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	75.3		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	47.3		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	37.9		89.3	64.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	258,034
1 固定資産	137,205
(1) 有形固定資産	137,155
(2) 無形固定資産	50
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	120,829
(1) 現金及び預金	91,867
(2) 未収金及び未収収益	27,525
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,437
3 繰延資産	-
負債合計	56,025
1 固定負債	12,879
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,879
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	37,024
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,618
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	16,187
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	15,219
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,122
(1) 長期前受金	58,380
(2) 長期前受金収益化累計額()	52,258
資本合計	202,009
1 資本金	442,309
2 剰余金	-240,300
(1) 資本金剰余金	6,751
(2) 利益剰余金	-247,051
負債・資本合計	258,034
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	99,265	139,807
資本勘定繰入	3,579	3,579
計	102,844	143,386

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	133.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	川崎町				
病院名	国民健康保険川崎病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,631 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	66.2	80.6	75.5
療養	28	69.8	88.4	82.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	67.9	84.4	78.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	19.1	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	8,345	
決算規模(千円)	6,177,505	
標準財政規模(千円)	3,525,461	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	821,582			
1 経常収益	819,460			
(1) 医業収益	540,527			
入院収益	296,377			
外来収益	152,086			
診療収入計	448,463			
その他医業収益	92,064			
(うち他会計負担金)	60,756			
(2) 医業外収益	278,933			
(うち国・都道府県補助金)	19,075			
(うち他会計補助・負担金)	238,704			
(うち長期前受金戻入)	15,055			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,122			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	833,399			
2 経常費用	833,177			
(1) 医業費用	794,090			
職員給与費	502,420	93.0	62.1	78.9
材料費	64,893	12.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	32,633	6.0	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,126	4.5	11.4	6.0
減価償却費	42,258	7.8	9.5	11.7
経費	183,551	34.0	22.7	31.2
(うち委託料)	24,658	4.6	12.6	14.3
研究研修費	279			
資産減耗費	689			
(2) 医業外費用	39,087			
(うち支払利息)	12,687	2.3	1.3	1.7
(3) 特別損失	222			
損益				
経常損益	-13,717			
純損益	-11,817			
累積欠損金	1,326,177			
経常収支比率	98.4		101.9	100.3
医業収支比率	68.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	36.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	55.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	36.4		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	62.4		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	967,887
1 固定資産	784,111
(1) 有形固定資産	783,640
(2) 無形固定資産	471
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	183,776
(1) 現金及び預金	36,399
(2) 未収金及び未収収益	145,214
(3) 貸倒引当金()	744
(4) 貯蔵品	2,907
3 繰延資産	-
負債合計	717,329
1 固定負債	345,518
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	225,783
(2) その他の企業債	70,700
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,035
(7) リース債務	-
2 流動負債	152,320
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	74,033
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	36,370
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	37,972
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	219,491
(1) 長期前受金	524,121
(2) 長期前受金収益化累計額()	304,630
資本合計	250,558
1 資本金	1,496,423
2 剰余金	-1,245,865
(1) 資本金剰余金	80,312
(2) 利益剰余金	-1,326,177
負債・資本合計	967,887
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.4
修正医業収益(千円)	479,771

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	249,460	299,460
資本勘定繰入	48,629	48,629
計	298,089	348,089

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	245.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	丸森町		
病院名	丸森町国民健康保険丸森病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,360 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救臨
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	55	65.2	60.9	73.6
療養	35	42.3	55.7	76.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	56.3	58.8	74.9
平均在院日数(一般病床のみ)		22.7	22.9	23.4

設立団体の状況		
人口(人)	12,262	
決算規模(千円)	18,758,093	
標準財政規模(千円)	5,201,864	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	87.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	8.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.4
修正医業収益(千円)	854,615

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,246,585			
1 経常収益	1,240,585			
(1) 医業収益	959,431			
入院収益	484,220			
外来収益	251,201			
診療収入計	735,421			
その他医業収益	224,010			
(うち他会計負担金)	104,816			
(2) 医業外収益	281,154			
(うち国・都道府県補助金)	37,227			
(うち他会計補助・負担金)	220,874			
(うち長期前受金戻入)	15,306			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,206,251			
2 経常費用	1,163,373			
(1) 医業費用	1,104,724			
職員給与費	539,310	56.2	62.1	78.9
材料費	70,963	7.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	23,359	2.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	45,849	4.8	11.4	6.0
減価償却費	73,208	7.6	9.5	11.7
経費	413,217	43.1	22.7	31.2
(うち委託料)	222,623	23.2	12.6	14.3
研究研修費	1,047			
資産減耗費	6,979			
(2) 医業外費用	58,649			
(うち支払利息)	20,833	2.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	42,878			
損益				
経常損益	77,212			
純損益	40,334			
累積欠損金	72,432			
経常収支比率	106.6		101.9	100.3
医業収支比率	86.8		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	26.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	33.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	26.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	78.6		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,816,151
1 固定資産	1,419,275
(1) 有形固定資産	1,419,214
(2) 無形固定資産	61
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	396,876
(1) 現金及び預金	166,348
(2) 未収金及び未収収益	227,542
(3) 貸倒引当金()	900
(4) 貯蔵品	3,446
3 繰延資産	-
負債合計	959,730
1 固定負債	661,599
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	632,020
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	21,487
(7) リース債務	8,092
2 流動負債	213,898
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	105,061
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,227
(6) リース債務	2,111
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	57,580
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	84,233
(1) 長期前受金	625,073
(2) 長期前受金収益化累計額()	540,840
資本合計	856,421
1 資本金	928,853
2 剰余金	-72,432
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-72,432
負債・資本合計	1,816,151
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	252,775	325,690
資本勘定繰入	96,070	96,070
計	348,845	421,760

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	涌谷町				
病院名	涌谷町国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,569 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	80	75.9	73.6	61.4
療養	41	83.8	80.0	74.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	121	78.5	75.8	65.8
平均在院日数(一般病床のみ)		21.2	20.5	20.0

設立団体の状況		
人口(人)	15,388	
決算規模(千円)	10,036,068	
標準財政規模(千円)	4,863,124	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	89.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	40.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.7
修正医業収益(千円)	1,591,871

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,000,688			
1 経常収益	1,990,088			
(1) 医業収益	1,662,760			
入院収益	838,097			
外来収益	659,485			
診療収入計	1,497,582			
その他医業収益	165,178			
(うち他会計負担金)	70,889			
(2) 医業外収益	327,328			
(うち国・都道府県補助金)	5,936			
(うち他会計補助・負担金)	239,402			
(うち長期前受金戻入)	60,919			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,600			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,047,105			
2 経常費用	2,027,747			
(1) 医業費用	1,949,562			
職員給与費	1,076,806	64.8	62.1	67.4
材料費	441,471	26.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	355,015	21.4	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,118	4.0	11.4	8.8
減価償却費	114,708	6.9	9.5	10.7
経費	294,312	17.7	22.7	29.2
(うち委託料)	139,040	8.4	12.6	13.9
研究研修費	1,286			
資産減耗費	20,979			
(2) 医業外費用	78,185			
(うち支払利息)	10,703	0.6	1.3	1.5
(3) 特別損失	19,358			
損益				
経常損益	-37,659			
純損益	-46,417			
累積欠損金	1,562,655			
経常収支比率	98.1		101.9	100.3
医業収支比率	85.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	15.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	18.7		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	82.8		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,577,720
1 固定資産	1,252,820
(1) 有形固定資産	1,251,600
(2) 無形固定資産	1,220
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	324,900
(1) 現金及び預金	54,568
(2) 未収金及び未収収益	261,788
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	8,544
3 繰延資産	-
負債合計	1,639,346
1 固定負債	627,543
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	548,327
(2) その他の企業債	71,600
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	7,616
2 流動負債	532,623
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	86,613
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,519
(6) リース債務	1,428
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	88,063
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	479,180
(1) 長期前受金	1,050,362
(2) 長期前受金収益化累計額()	571,182
資本合計	-61,626
1 資本金	1,468,843
2 剰余金	-1,530,469
(1) 資本剰余金	32,186
(2) 利益剰余金	-1,562,655
負債・資本合計	1,577,720
不良債務	121,110
実質資金不足額	121,110
資金不足額()	61,626
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	155,970	310,291
資本勘定繰入	48,350	86,821
計	204,320	397,112

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	121,110	7.3
令和元年度	238,962	14.5
平成30年度	33,548	2.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	94.0
健全化法上の資金不足額(千円)	82,151
健全化法上の資金不足比率(%)	4.9
地財法上の資金不足額(千円)	192,710
地財法上の資金不足比率(%)	11.5

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			宮城県
市町村・組合名	美里町		
病院名	美里町立南郷病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,899 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	63.4	74.6	82.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	63.4	74.6	82.5
平均在院日数(一般病床のみ)		42.6	41.1	44.0

設立団体の状況		
人口(人)	23,994	
決算規模(千円)	14,466,904	
標準財政規模(千円)	7,089,885	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	26.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	628,666			
1 経常収益	624,666			
(1) 医業収益	420,596			
入院収益	207,984			
外来収益	129,517			
診療収入計	337,501			
その他医業収益	83,095			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	204,070			
(うち国・都道府県補助金)	11,112			
(うち他会計補助・負担金)	163,706			
(うち長期前受金戻入)	28,316			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	687,712			
2 経常費用	683,712			
(1) 医業費用	652,593			
職員給与費	384,077	91.3	62.1	78.9
材料費	62,968	15.0	25.3	15.6
(うち薬品費)	32,157	7.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,811	7.3	11.4	6.0
減価償却費	50,919	12.1	9.5	11.7
経費	153,737	36.6	22.7	31.2
(うち委託料)	73,444	17.5	12.6	14.3
研究研修費	198			
資産減耗費	694			
(2) 医業外費用	31,119			
(うち支払利息)	12,842	3.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	4,000			
損益				
経常損益	-59,046			
純損益	-59,046			
累積欠損金	558,475			
経常収支比率	91.4		101.9	100.3
医業収支比率	64.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	32.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	47.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	31.8		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	62.1		89.3	76.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	940,435
1 固定資産	771,907
(1) 有形固定資産	771,907
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	168,528
(1) 現金及び預金	94,986
(2) 未収金及び未収収益	71,119
(3) 貸倒引当金()	13
(4) 貯蔵品	2,310
3 繰延資産	-
負債合計	584,090
1 固定負債	245,669
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	244,541
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	1,128
2 流動負債	164,204
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	100,030
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,773
(6) リース債務	3,402
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	35,091
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	174,217
(1) 長期前受金	369,602
(2) 長期前受金収益化累計額()	195,385
資本合計	356,345
1 資本金	914,820
2 剰余金	-558,475
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-558,475
負債・資本合計	940,435
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.9
修正医業収益(千円)	384,302

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	268,053	200,000
資本勘定繰入	60,478	60,478
計	328,531	260,478

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	132.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	女川町		
病院名	女川町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,430	
決算規模(千円)	33,192,304	
標準財政規模(千円)	3,603,199	
財政力指数	1.04	
経常収支比率(%)	87.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,877			
1 経常収益	4,877			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,877			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,877			
2 経常費用	4,877			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	-	-	9.5	11.7
経費	-	-	22.7	31.2
(うち委託料)	-	-	12.6	14.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	4,877			
(うち支払利息)	4,877	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	南三陸町				
病院名	南三陸病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,554 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	71.8	73.8	79.5
療養	50	91.3	95.3	96.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	82.6	85.7	89.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	12.1	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	12,225	
決算規模(千円)	32,473,427	
標準財政規模(千円)	5,351,219	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	97.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,085,726			
1 経常収益	2,044,524			
(1) 医業収益	1,319,680			
入院収益	738,874			
外来収益	471,092			
診療収入計	1,209,966			
その他医業収益	109,714			
(うち他会計負担金)	58,000			
(2) 医業外収益	724,844			
(うち国・都道府県補助金)	62,164			
(うち他会計補助・負担金)	394,035			
(うち長期前受金戻入)	257,464			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	41,202			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,064,275			
2 経常費用	2,023,073			
(1) 医業費用	1,886,174			
職員給与費	916,460	69.4	62.1	78.9
材料費	187,488	14.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	58,172	4.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	112,911	8.6	11.4	6.0
減価償却費	287,507	21.8	9.5	11.7
経費	492,998	37.4	22.7	31.2
(うち委託料)	227,392	17.2	12.6	14.3
研究研修費	1,646			
資産減耗費	75			
(2) 医業外費用	136,899			
(うち支払利息)	2,281	0.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	41,202			
損益				
経常損益	21,451			
純損益	21,451			
累積欠損金	868,458			
経常収支比率	101.1		101.9	100.3
医業収支比率	70.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	22.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	34.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	21.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	78.7		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,446,587
1 固定資産	4,023,780
(1) 有形固定資産	3,928,955
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	94,825
2 流動資産	422,807
(1) 現金及び預金	183,923
(2) 未収金及び未収収益	234,265
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,397
3 繰延資産	-
負債合計	4,565,615
1 固定負債	183,210
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	182,810
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	400
2 流動負債	112,707
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	31,671
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	1,364
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	79,672
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,269,698
(1) 長期前受金	5,952,306
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,682,608
資本合計	-119,028
1 資本金	721,680
2 剰余金	-840,708
(1) 資本金剰余金	27,750
(2) 利益剰余金	-868,458
負債・資本合計	4,446,587
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	119,028
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.9
修正医業収益(千円)	1,261,680

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	452,035	452,035
資本勘定繰入	7,360	54,287
計	459,395	506,322

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	65.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	白石市外二町組合				
病院名	公立刈田総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,164 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救 感 災 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	254	44.5	60.6	59.7
療養	-	-	-	-
結核	4	-	-	0.3
精神	-	-	-	-
感染症	4	27.3	-	0.1
計	262	43.6	59.0	58.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	15.0	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	2,946	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	109.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.5
修正医業収益(千円)	3,074,634

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,306,299			
1 経常収益	4,138,868			
(1) 医業収益	3,352,134			
入院収益	1,704,671			
外来収益	1,200,780			
診療収入計	2,905,451			
その他医業収益	446,683			
(うち他会計負担金)	277,500			
(2) 医業外収益	786,734			
(うち国・都道府県補助金)	423,820			
(うち他会計補助・負担金)	279,621			
(うち長期前受金戻入)	20,994			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	167,431			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,186,025			
2 経常費用	5,080,594			
(1) 医業費用	4,763,682			
職員給与費	2,615,353	78.0	62.1	66.1
材料費	436,490	13.0	25.3	19.8
(うち薬品費)	232,976	7.0	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	203,514	6.1	11.4	9.3
減価償却費	382,167	11.4	9.5	10.2
経費	1,319,687	39.4	22.7	28.2
(うち委託料)	625,808	18.7	12.6	13.6
研究研修費	5,526			
資産減耗費	4,459			
(2) 医業外費用	316,912			
(うち支払利息)	147,126	4.4	1.3	1.6
(3) 特別損失	105,431			
損益				
経常損益	-941,726			
純損益	-879,726			
累積欠損金	15,846,534			
経常収支比率	81.5		101.9	99.9
医業収支比率	70.4		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	13.5		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.6		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	12.9		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	70.5		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,243,662
1 固定資産	5,358,489
(1) 有形固定資産	5,307,863
(2) 無形固定資産	2,029
(3) 投資その他の資産	48,597
2 流動資産	1,885,173
(1) 現金及び預金	1,227,136
(2) 未収金及び未収収益	601,637
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	56,400
3 繰延資産	-
負債合計	10,344,194
1 固定負債	7,106,747
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,241,598
(2) その他の企業債	1,245,900
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	600,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	19,249
2 流動負債	2,757,331
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	674,151
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	170,207
(6) リース債務	24,220
(7) 一時借入金	1,460,000
(8) 未払金及び未払費用	400,310
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	480,116
(1) 長期前受金	1,256,854
(2) 長期前受金収益化累計額()	776,738
資本合計	-3,100,532
1 資本金	12,716,212
2 剰余金	-15,816,744
(1) 資本剰余金	1,050
(2) 利益剰余金	-15,817,794
負債・資本合計	7,243,662
不良債務	198,007
実質資金不足額	44,007
資本不足額()	3,100,532
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,620,416
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	555,323	557,121
資本勘定繰入	474,741	475,305
計	1,030,064	1,032,426

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	198,007	5.9
令和元年度	341,486	7.4
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	472.7
健全化法上の資金不足額(千円)	198,007
健全化法上の資金不足比率(%)	5.9
地財法上の資金不足額(千円)	1,443,907
地財法上の資金不足比率(%)	43.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	黒川地域行政事務組合				
病院名	公立黒川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	10,025 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	110	54.4	56.2	59.8
療養	60	70.0	72.5	69.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	59.9	62.0	63.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	12.3	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	2,504,246	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	81.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.5
修正医業収益(千円)	2,568,613

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,861,474			
1 経常収益	2,794,825			
(1) 医業収益	2,578,613			
入院収益	1,396,152			
外来収益	1,053,051			
診療収入計	2,449,203			
その他医業収益	129,410			
(うち他会計負担金)	10,000			
(2) 医業外収益	216,212			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	172,432			
(うち長期前受金戻入)	43,341			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	66,649			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,978,279			
2 経常費用	2,913,571			
(1) 医業費用	2,871,350			
職員給与費	3,668	0.1	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	217,859	8.4	9.5	10.7
経費	2,648,615	102.7	22.7	29.2
(うち委託料)	2,588,781	100.4	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	1,208			
(2) 医業外費用	42,221			
(うち支払利息)	42,221	1.6	1.3	1.5
(3) 特別損失	64,708			
損益				
経常損益	-118,746			
純損益	-116,805			
累積欠損金	3,517,586			
経常収支比率	95.9		101.9	100.3
医業収支比率	89.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	6.4		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	89.7		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,795,681
1 固定資産	3,797,512
(1) 有形固定資産	3,426,512
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	371,000
2 流動資産	998,169
(1) 現金及び預金	42,326
(2) 未収金及び未収収益	495,843
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,953,613
1 固定負債	1,656,073
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,270,122
(2) その他の企業債	281,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	90,000
(6) 引当金	14,951
(7) リース債務	-
2 流動負債	783,296
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	368,196
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,159
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	7,941
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	514,244
(1) 長期前受金	832,590
(2) 長期前受金収益化累計額()	318,346
資本合計	1,842,068
1 資本金	5,359,654
2 剰余金	-3,517,586
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,517,586
負債・資本合計	4,795,681
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	58,040	182,432
資本勘定繰入	214,754	425,166
計	272,794	607,598

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	加美郡保健医療福祉行政事務組合				
病院名	公立加美病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,804 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	71.2	71.6	79.9
療養	50	74.1	87.6	92.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	72.8	80.5	86.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	19.6	20.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	991,494	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	100.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,380,077			
1 経常収益	1,361,510			
(1) 医業収益	892,973			
入院収益	517,377			
外来収益	239,559			
診療収入計	756,936			
その他医業収益	136,037			
(うち他会計負担金)	54,791			
(2) 医業外収益	468,537			
(うち国・都道府県補助金)	4,706			
(うち他会計補助・負担金)	393,992			
(うち長期前受金戻入)	69,041			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	18,567			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,377,297			
2 経常費用	1,368,759			
(1) 医業費用	1,301,693			
職員給与費	787,956	88.2	62.1	78.9
材料費	103,531	11.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	25,099	2.8	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,309	8.5	11.4	6.0
減価償却費	73,535	8.2	9.5	11.7
経費	335,002	37.5	22.7	31.2
(うち委託料)	157,878	17.7	12.6	14.3
研究研修費	739			
資産減耗費	930			
(2) 医業外費用	67,066			
(うち支払利息)	23,594	2.6	1.3	1.7
(3) 特別損失	8,538			
損益				
経常損益	-7,249			
純損益	2,780			
累積欠損金	1,930,371			
経常収支比率	99.5		101.9	100.3
医業収支比率	68.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	33.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	50.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	32.5		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	66.7		89.3	76.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,870,417
1 固定資産	1,557,377
(1) 有形固定資産	1,556,938
(2) 無形固定資産	439
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	313,040
(1) 現金及び預金	169,664
(2) 未収金及び未収収益	134,663
(3) 貸倒引当金()	2,485
(4) 貯蔵品	11,198
3 繰延資産	-
負債合計	2,182,597
1 固定負債	1,096,298
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	996,298
(2) その他の企業債	100,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	377,817
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	155,362
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	53,998
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	168,457
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	708,482
(1) 長期前受金	2,073,495
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,365,013
資本合計	-312,180
1 資本金	1,538,151
2 剰余金	-1,850,331
(1) 資本金剰余金	80,040
(2) 利益剰余金	-1,930,371
負債・資本合計	1,870,417
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	312,180
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.4
修正医業収益(千円)	838,182

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	474,345	448,783
資本勘定繰入	106,568	171,346
計	580,913	620,129

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	27,938	3.0
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	216.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	9,415
地財法上の資金不足比率(%)	1.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	みやぎ県南中核病院企業団				
病院名	みやぎ県南中核病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,364 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨 へ 災地 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	310	71.3	75.2	74.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	310	71.3	75.2	74.3
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	9.6	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.5
修正医業収益(千円)	7,938,012

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,757,167			
1 経常収益	9,595,467			
(1) 医業収益	8,461,350			
入院収益	5,103,153			
外来収益	2,596,356			
診療収入計	7,699,509			
その他医業収益	761,841			
(うち他会計負担金)	523,338			
(2) 医業外収益	1,134,117			
(うち国・都道府県補助金)	637,518			
(うち他会計補助・負担金)	353,248			
(うち長期前受金戻入)	60,530			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	161,700			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,149,762			
2 経常費用	9,978,872			
(1) 医業費用	9,391,746			
職員給与費	5,215,751	61.6	62.1	63.5
材料費	1,961,036	23.2	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,083,353	12.8	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	877,683	10.4	11.4	11.8
減価償却費	582,351	6.9	9.5	10.0
経費	1,609,748	19.0	22.7	21.7
(うち委託料)	1,029,520	12.2	12.6	12.2
研究研修費	15,424			
資産減耗費	7,436			
(2) 医業外費用	587,126			
(うち支払利息)	169,873	2.0	1.3	1.4
(3) 特別損失	170,890			
損益				
経常損益	-383,405			
純損益	-392,595			
累積欠損金	15,341,182			
経常収支比率	96.2		101.9	101.7
医業収支比率	90.1		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	87.4		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,055,863
1 固定資産	8,049,013
(1) 有形固定資産	7,984,223
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	64,790
2 流動資産	2,006,850
(1) 現金及び預金	212,267
(2) 未収金及び未収収益	1,674,285
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	120,298
3 繰延資産	-
負債合計	11,869,775
1 固定負債	7,195,561
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,925,194
(2) その他の企業債	269,948
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	419
2 流動負債	3,573,439
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	877,993
(2) その他の企業債	19,852
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	267,966
(6) リース債務	10,260
(7) 一時借入金	1,600,000
(8) 未払金及び未払費用	797,368
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,100,775
(1) 長期前受金	1,893,827
(2) 長期前受金収益化累計額()	793,052
資本合計	-1,813,912
1 資本金	13,507,778
2 剰余金	-15,321,690
(1) 資本金剰余金	19,492
(2) 利益剰余金	-15,341,182
負債・資本合計	10,055,863
不良債務	688,596
実質資金不足額	688,596
資金不足額()	1,813,912
資本不足額(繰延収益控除後)()	713,137
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,099,194	876,586
資本勘定繰入	512,370	799,177
計	1,611,564	1,675,763

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	688,596	8.1
令和元年度	946,312	11.3
平成30年度	794,868	9.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	181.3
健全化法上の資金不足額(千円)	668,744
健全化法上の資金不足比率(%)	7.9
地財法上の資金不足額(千円)	958,544
地財法上の資金不足比率(%)	11.3

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。